

大学スポーツが果たすべき役割の 将来像

国立大学法人 鹿屋体育大学
学長 福永 哲夫

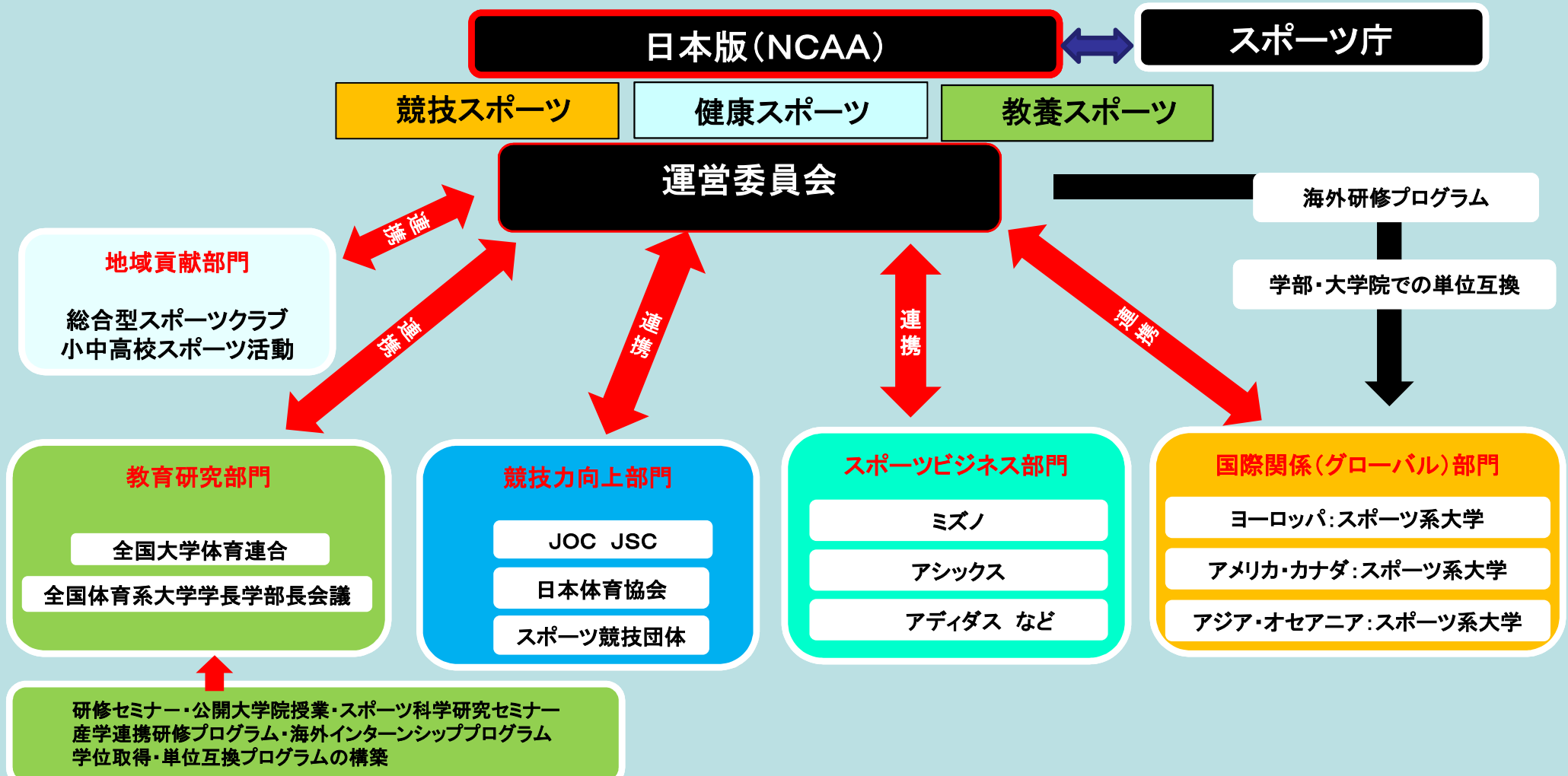


大学スポーツの教育研究拠点

-2-

【目的とねらい】

大学スポーツにおける教育の質保証、スポーツ科学研究、ビジネスマネジメントに関する教育研究拠点の開発を国内体育系大学や産業界との連携で実施する。主に、この分野での将来的なグローバル人材の育成のための研究セミナー、海外実践教育プログラムの開発を実施する他、トップアスリートやコーチなどのセカンドキャリア教育を行うため、国内体育系大学の学部や大学院教育プログラムでの単位互換や学位取得制度を導入するアカデミックネットワークを構築する。



5つのターゲット

-3-

①大学トップ層への理解の醸成

- ・大学スポーツの潜在力についての認識を国公私立大学長へ浸透させる

②大学スポーツのビジネス化

- ・大学スポーツ活動の収益拡大に関する制度的課題の把握・検討

③学生へのスポーツ教育の充実

- ・カリキュラムの充実(スポーツボランティア、障害者スポーツの支援等を含む)

④学生アスリートのデュアルキャリア支援

- ・部活動をする学生への学習・キャリア支援の充実

⑤大学スポーツの地域貢献

- ・大学スポーツを核とした地域活性化、人材・施設活用

大学トップ層への理解の醸成

学長会議でのプレゼン; 国立大学協会、私立大学協会

体育系学術団体からの提言 2010

21世紀の高等教育と保健体育・スポーツ

- ・ 日本学術会議からの提言「21世紀の教養と教養教育」(2010年)などにも示されたように、科学的研究成果に基づき、学生の心身の健康の維持増進と人間的成長の支援に努めてきた体育・スポーツ・健康にかかわる下記の学術団体は、以下の4事項を全国の高等教育機関に要請する。

平成22年6月30日

全国大学体育連合会長 奥島孝康
日本体育学会会長 福永哲夫
日本女子体育連盟理事長 村田芳子
日本体力医学会理事長 吉岡利忠
全国体育系大学学長・学部長会会長 高橋和之
日本教育大学協会保健体育・保健研究部門代表 渡辺雅之

1. 学生の健康・体力を維持・向上させ、活力ある家庭や社会を築く能力を育成する
2. 大学における保健体育の教育効果を再認識する
3. スポーツ権を尊重し、スポーツ文化の創造に寄与する
4. 学位授与の方針と「学士力」に心身の健康を位置づける

日本スポーツ体育健康学術連合

- ・ 日本学術会議の中の「体育学・スポーツ科学」、「体力科学」、「予防医学」の3つの分野の学術団体が中心となって、この分野の研究の発展と研究成果の社会への還元を目的として平成20年9月結成

加盟学術団体

日本体育学会、日本体力医学会、日本バイオメカニクス学会、
日本コーチング学会など42団体

5つのターゲット

-6-

①大学トップ層への理解の醸成

- ・大学スポーツの潜在力についての認識を国公立大学長へ浸透させる

②大学スポーツのビジネス化

- ・大学スポーツ活動の収益拡大に関する制度的課題の把握・検討

③学生へのスポーツ教育の充実

- ・カリキュラムの充実(スポーツボランティア、障害者スポーツの支援等を含む)

④学生アスリートのデュアルキャリア支援

- ・部活動をする学生への学習・キャリア支援の充実

⑤大学スポーツの地域貢献

- ・大学スポーツを核とした地域活性化、人材・施設活用

大学スポーツの地域貢献

-7-

＜現状：社会貢献型＞

地域スポーツ・健康づくり指導とプログラム開発
スポーツ指導者育成

＜将来：好循環型＞

教育機能：学校体育授業への好循環

ビジネス機能：地域医療軽減への好循環

：ローカルスポーツの活性化

-8-

29大学



北海道

④仙台大
健康づくり健康サポータ
事業

⑤尚絅学院大
尚絅学院大学総合型地域
スポーツクラブ
絆・KIZUNA 2

⑥福島大学
福島大学スポーツユニオン

⑧筑波大学
筑波ユナイテッド
⑨流通経済大学
クラブ・ドラゴンズ

⑪ 早稲田大学
WASEDA CLUB

⑫ 東京学芸大学
学芸大クラブ

⑬ 法政大学
NPO法人法政クラブ

⑭ 国土館大学
多摩ウェルネス・
センター

③岩手大学
岩手大学スポーツユニオン

⑦新潟医療福祉大学

⑬ **びわこ成蹊スポーツ大学**
スポーツ開発・支援センター
BIWAKO SPORTS CLUB

⑭ **立命館大学**

②5 東亜大学
コミュニティクラブ東亜

②⑧福岡大学
地域ネット推進センター

② 鹿屋体育大学
NPO法人NIFSスポーツクラブ

①9 京都教育大学
KYO2クラブ

②0 同志社大学
京たなべ・同志社総合型
地域スポーツクラブ

③1 京都文教大学
京都文教大学地域スポーツ
クラブ

②⑥ 愛媛大学
愛媛大学総合型地
域スポーツクラブ
②⑦ 愛媛女子短期大学
愛媛FC

②4 岡山大学
岡山バンジャーズ

②大阪教育大学
大阪教育大学スポーツクラブ[®]

③大阪商業大学
大阪商業大学スポーツセンター

⑩群馬大学
群大クラブ

⑮ **東海大学**
東海大学健康クラブ

⑯ **横浜国立大学**
YNUスポーツアカデミー

出典：渡正（2012）地域スポーツクラブの存立構造に関する一考察——地域と大学のもつ資源に着目して，徳山大学論叢，73：87-102
日本体育協会（2016）SC全国ネットワーク 加入クラブ一覧：<http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabushien/sc-leaflet26.pdf>
に掲載されている大学を基盤とした総合型クラブの一覧表から作成



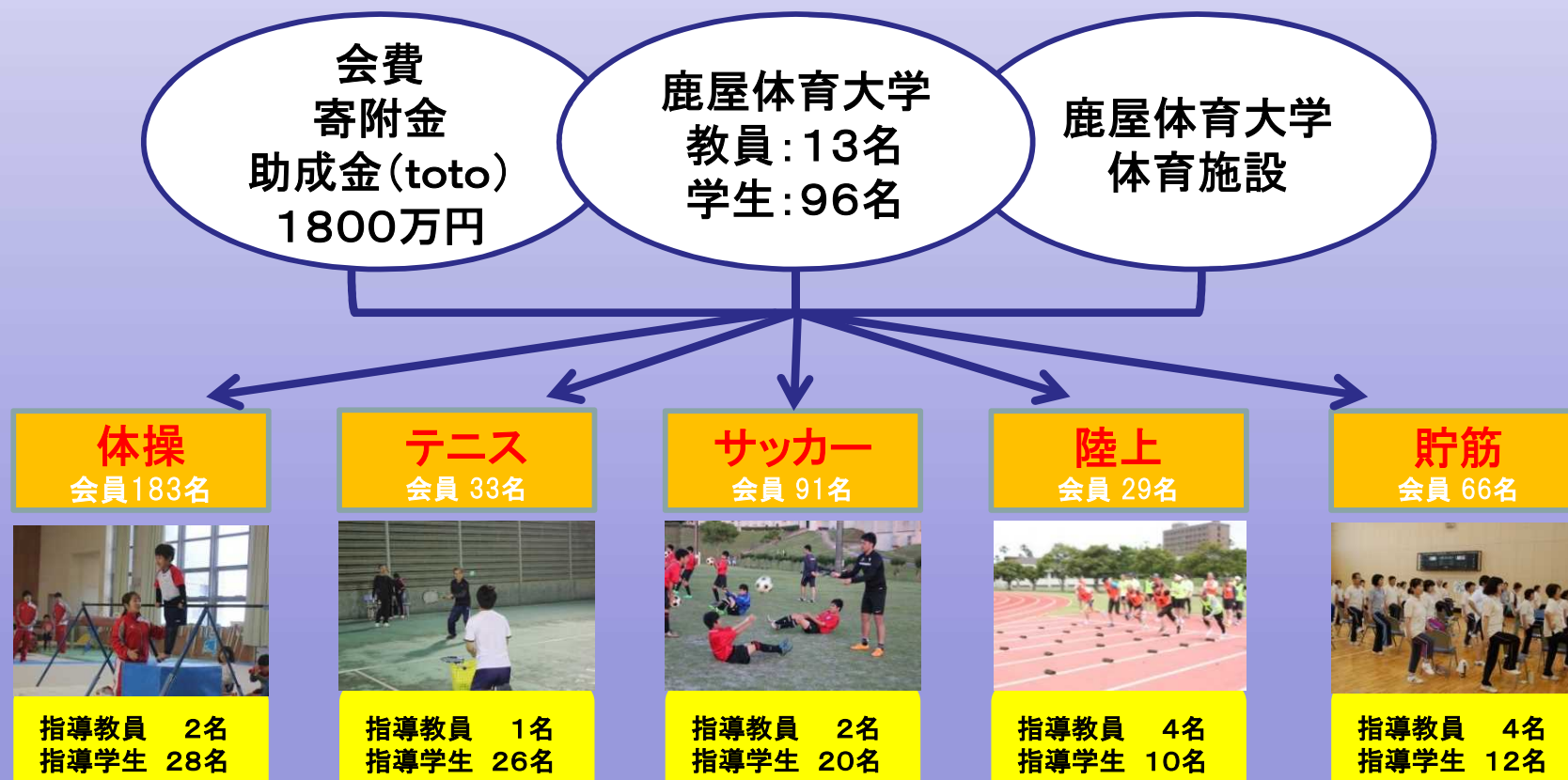
鹿屋体育大学の例

総合型地域スポーツクラブ「NIFSスポーツクラブ」について(概要)

-9-

NIFSスポーツクラブは、2006年2月に設立した総合型地域スポーツクラブです。鹿屋体育大学教員のスポーツに関する専門的知識・技術と、各種の体育施設など知的・物的資源を有効活用することにより、活力ある地域づくりに貢献します。

会員数
402名
指導者
13名
学生
96名



体を動かす機会、鹿屋体育大学の持つ専門的な知識と場所を提供し、スポーツを通して明るく豊かで活力に満ちた地域づくりに寄与

学生のスポーツ指導体験の場として、実践的指導力の養成



愛媛大学総合型地域スポーツクラブ

2006年4月に設立された国立大学法人としてはじめてのクラブです。

4つの理念に基づいて活動しています。

教職員・学生・地域住民が連帯し、4つの理念に基づいて活動を推進しています。

子どもの健全育成を図る。

成人の健康・体力づくりを図る。

チャンピオンシップスポーツをサポートする。

総合型地域スポーツクラブをサポートする。

- 体力・運動能力の向上
- コミュニケーション能力・リーダーシップ能力の育成
- 教職員・地域住民の健康づくりとふれあいの場の提供
- 健康増進のための指導者の養成
- スポーツ立県えひめへの貢献
- トップアスリートの輩出
- 愛媛県下のクラブづくりへのサポート
- 県・市・町との連携の強化

9つのスポーツ教室を開いています。

木

成人スポーツ教室



19:00～20:30 体育館ほか

金

テニス教室



17:45～19:15 テニスコート

土

ウォーキング教室



10:00～12:10 道後公園ほか

土

ホノルルマラソンランニング教室



15:00～17:00 城北キャンパスほか

土

バレーボール教室&学習塾



13:30～17:00 体育館ほか

土

キッズ・サッカー教室



16:00～17:30 止観グラウンド

土

学習とスポーツ教室



9:00～12:00 体育館ほか

日

ダンス教室ゼロポイント



11:00～13:00 ダンス館

金

キッズ・バスケットボール教室

17:00～18:30 体育館

New!

お問い合わせは事務局まで。



3. 地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト(H23～H27) -12-

拠点クラブにおいてトップアスリートを活用し、地域のジュニアアスリート等を指導するとともに、学校に「小学校体育活動コーディネーター」を派遣することなどを通じて、**地域スポーツとトップスポーツの好循環を実現**



地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト実施状況

-13-

平成23年度～27年度まで38都道府県で実施
年間約5億を補助（50～60クラブ）

◆ 年度別予算額と実施クラブ数

項目			H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
予算額(千円)			570,993	581,598	588,866	256,462	91,700
事業実施クラブ数 ※			50	46	61	31	22
内訳	好循環推進プロジェクトの実施 ①トップアスリートによる巡回指導 ②地域課題解決 ③小学校体育活動支援	拠点クラブ	30	33	50	24	17
		その他のクラブ (トップアスリート巡回指導なし)	20	13	11	0	0
	「拠点クラブ」を核としたエリアネットワーク構築に関する実践研究	拠点クラブ	—	—	—	7	5

※ 各年度の事業実施クラブ数であり、複数年度実施しているクラブがあるため、合計数の78クラブとは一致しない。

① トップアスリートによる巡回指導

-14-

拠点クラブから、オリンピックや国際競技大会、国民体育大会などに出場経験のある**トップアスリート**を周辺の**総合型クラブ**や**スポーツ少年団**、**学校運動部活動**等に、例えば、月に1回、週に1回など**定期的に派遣**し、地域の**ジュニアアスリート**等を指導



ミニハードルを使用して指導を行っている青戸慎司さん(ソウル、バルセロナオリンピック陸上代表)
(NPO法人朝日丘スポーツクラブ、愛知県豊田市)



元Jリーガーが地域のジュニアアスリートを指導している様子(NPO法人幕別札幌内スポーツクラブ、北海道幕別町)

区分		H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度※1
巡回指導先団体数		278団体	319団体	474団体	196団体	126団体
トップアスリート		197名	236名	334名	155名	147名
内訳	オリンピック・パラリンピック出場	22名	33名	32名	27名	11名
	国際大会出場	38名	42名	44名	23名	21名
	全国大会出場	98名	113名	173名	73名	96名
	その他 ※2	39名	48名	85名	32名	19名

※1:平成27年度の数値は年度当初の事業計画数

※2:Jリーグ、海外のプロサッカー、JFL、なでしこリーグ、プロ野球、Vリーグ等での競技経験を有するアスリート

小学校の体育授業の計画立案を補助したり、担任とチームティーチングで体育の授業に取り組む人材を「小学校体育活動コーディネーター」として派遣し、**小学校の体育活動を支援**



チームティーチングで跳び箱の指導を行う体育活動コーディネーター（NPO法人さばえスポーツクラブ）



鉄棒の手本を見せる体育活動コーディネーター（NPO法人ゆうゆうスポーツクラブ海南）

区分	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度※1
派遣先小学校数	425校	580校	536校	226校	120校
体育活動コーディネーター	403名	492名	546名	291名	155名

※1: 平成27年度の数値は年度当初の事業計画数

NPO法人朝日丘スポーツクラブ（愛知県豊田市）

大学と連携・協働し、大学に所属するオリンピック出場選手や学生アスリートの協力を得て、巡回指導を実施。

- ✓ 豊田市内にキャンパスがある中京大学と連携・協働し、大学に所属するオリンピック出場選手や学生アスリートの協力を得て、総合型クラブのスポーツ教室や中学校の運動部活動を対象とした巡回指導と顧問を対象とした指導者研修会を実施。
- ✓ 国費による委託事業終了後の継続を視野に入れて、中京大学、トヨタ自動車、豊田市体育協会、豊田市教育委員会スポーツ課、当クラブが参加する「スポーツの好循環検討委員会」を設置し、本事業終了後の在り方、大学、企業のスポーツによる地域貢献の在り方、行政の関わり方について検討。
- ✓ 平成28年度からは、豊田市教育委員会スポーツ課が地域のスポーツクラブへの委託事業を予算化。当クラブは、本事業での3年間の実績を生かし、中京大学、トヨタ自動車と連携した中学校部活動支援や指導者研修会等の事業を提案予定。



青戸慎司さんによる中学校陸上部への指導の様子



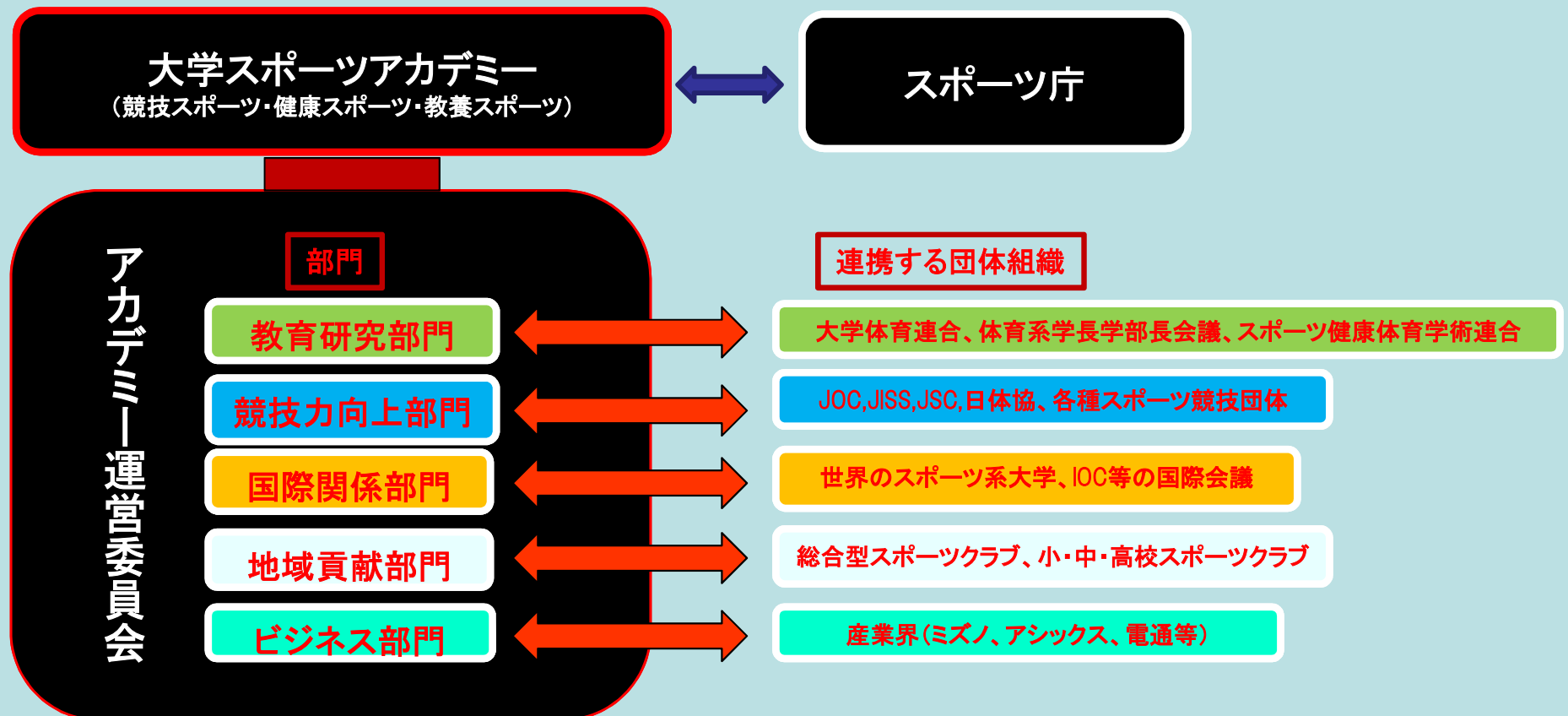
指導者研修会の様子

大学スポーツアカデミーの設立 (Japan Academy of College Sports: JACS)

-17-

【目的とねらい】

- 1) 高度大学スポーツ指導者育成を目指した大学院・学部教育プログラムの開発を実施
- 2) 大学スポーツの競技力向上を目指したコーチングプログラム(タレント発掘等)の開発を産・官との連携で実施
- 3) IOCなどの国際スポーツ会議で活躍できる人材育成を目的とした教育プログラムの実施
- 4) 地域スポーツを振興するための教育プログラムの開発と実践
- 5) 大学におけるスポーツを対象とした産業界との連携によるスポーツビジネスの振興



福永2016